

大阪府保育士会だより

平成17年4月1日

第69号

大阪府社会福祉協議会

保育部会・保育士会

大阪市中央区中寺1-1-54

TEL 06-6762-9001

ほほえみ

学習目標 しっかりと

大阪府保育士会 会長 武内茂子



が経過した今、私達保育士はどのような社会的認知を得る活躍ができるかを一人ひとりが受けとめる意識改革が求められています。専門職としての使命の中にあげられていることを考える時、日頃の子どもの姿に一喜一憂するところです。

参観日の折、保育中の子どもの様子や保育士の話に耳を傾けることなく、おしゃべりに花を咲かせる保護者

新学期、子どもたちの声は元氣一杯、泣き声も大きく、保育士も泣き笑いの日が始まっているでしょう。保育の場は子育てにやさしい社会づくりをめざし、少子高齢化の時代を迎えるの対策を打ち出しています。それに対応するため、男女共同参画社会の進展を含め、保育現場への大きな期待が寄せられているのです。

今後の保育士会の活動から、お互いの学びが広がることを願っています。

地域の人とペタンコ!

昔の遊びやおもちつき

「久しぶりでした」「昔を思い出しました」とおじいちゃん、おばあちゃんが汗だくの中、満面の笑みで話してくれました。昨年末に園庭で実施した「おもちつき大会」のひとコマです。約30人の地域の高齢の方と孫の世代の子どもたちが、一緒におもちをついて丸めたり、コマ回しやお手玉など、昔の伝承遊びを楽しんだのです。

貝塚市 貝塚南保育園



地域づくりは
ふれあひ大切に



それ押せやれ押せ力士 おすもうさんが来てくれた

大相撲春場所が近づく各部屋の力士たちが大阪入りし、当園には毎年、東関部屋と錦戸部屋の力士たちが訪れてくれます。今年も数人の力士が来てくれ、園児や保護者のほか、作業所の通所者や老人ホームのお年寄り、ご近所の皆様をお招きして、もちつきや相撲を取るなど楽しいひとときを過ごしました。なかでも、特設土俵での子どもたち数人と力士との取り組みは、本来の土俵では見ることのできないお相撲さんの表情がみられ、観客も大盛り上がりです。

今年で27回目を迎えるこの行事をみんなとても楽しみにしているので、地域交流の一環として、これからも続けていきたいと思っております。

摂津市 鳥飼さつき園

遊びをとおしての幼児教育とは何か

新しい保育における「遊び」は



中堅保育士研修会 II



中堅保育士研修会は11月7日、大阪教育大学教授早川勝廣先生を講師に219人の保育士が参加して大阪社会福祉指導センターで開催しました。

保育の動向の再確認ということで1990年に行われた保育所保育指針の改訂の話が中心でした。

改訂以前の6領域では、1週間に6領域さえ入っていれば良いという保育形態でクラスの子どもがみんな同じことをさせられていました。例えば、絵画の時間では無理やり全員お絵描きをさせられ、強制的にさせられるのが当然のように進められている傾向がありました。遊びに対しても遊ばなければいけないと一方的に遊びを押しつけられる保育で、それが子どもの気持ちにだめにし、子ども本来の遊び



たいから遊ぶということがあまりなかったのではないかと話されました。そういうことから領域も6領域から5領域に変更され、とりたてて活動させる意味ではなく、領域の根本的な考え方が変わったということでした。今までの先生主導の保育では、①先生の話を聞き覚える力、自ら考える力は育ちにくく子どもの個性や創造性は伸びていない。②先生が指示ばかりしているという指示がなければ自分で何もできない、何もしない、決められない指示待ちの子どもが多く育つ、ということでした。

次にコーナー保育の良い点、悪い点について、**【良い点】**①自由に遊ぶことによりトラブルが起きるのは当然である。しかしそのトラブルを子ども自身で解決する力を持つことができる。②保育士が保育を進めていく上で勝手なことを子どもを問題児としてしまう部分があるが、コーナー保育では好きなことができるので問題児が少なくなる。③自発的に遊ぶことによつ

見つけられない子どもが多くなってきました。子どもたちは本来自由に放っておいても何かを見つけて遊べるはず。しかし遊べない場合には子どもが遊びたくなくなるような環境作りが必要で、子どもたちが遊びたくなるような刺激を与える遊具やおもちゃの用意が必要です。それぞれのおもちゃを少しずつ離してまとめて置き、そこから遊びが広がっていくのがコーナー保育ではないかと述べられました。

て積極性が引き出される。**【悪い点】**①どのコーナーにも参加しない子どもが多くなる。②テーマや相手によって遊びを選ぶので人間関係が固定化してしまい、自然発生的な上下関係が生まれるので環境と援助の抱き合わせが必要。保育所保育指針の中では遊びを通して子どもの育ちを保障し、子どもの育つ環境を整え一人一人援助することがうたわれていることを再度認識しました。少子化の流れの中でできたエンゼルプランは、子どもを産まなくなった原因、すなわち子育てがしんどい、子育てに自信がない、など不安感がある女性をサポートするために作られたものであると指摘されました。また、いままで保育所の子どもたちの育ちだけを保障していたらよかったが、園庭開放、一時保育、育児相談などが行われ、保育所以外の子どもたちの援助や保育所としての社会的役割が増えて保育所の機能の質が大きく変化している現状にも言及されました。

最近小学校でも単学級が増えてきています。保育所でも年齢別保育をしていると同じ年齢の子どもとは同じように付き合えます。でも、社会へ出た時の上下関係がうまくできなくなってきています。そのためには異年齢児交流保育が必要で、縦割りの混合保育という形態も必要ではないかと話されました。これからの子どもには遊びを通して、生きる力が必ずあり、考える力、人と関わる力などの教育が豊か

でも年齢別保育をしていると同じ年齢の子どもとは同じように付き合えます。でも、社会へ出た時の上下関係がうまくできなくなってきています。そのためには異年齢児交流保育が必要で、縦割りの混合保育という形態も必要ではないかと話されました。これからの子どもには遊びを通して、生きる力が必ずあり、考える力、人と関わる力などの教育が豊か

17年度 大阪府保育士会事業計画(案)

4月27日

平成17年度総会

「不登校にみる幼少期の背景」保育士のかかわり方 II

講師・佐々木正美氏

6月未定

保育士研修会

「専門職としてのあり方」倫理領域をふまえて

講師・武内茂子会長

① 7月20日

② 7月28日

③ 8月8日

保育士の専門性を高める研修会

「家族・地域への援助を内容とし、技術演習を含めた連続研修会」

単位のし、修了書交付。

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

7月14・15日

近畿ブロック保育研究集会

9月未定

保育士研修会

「食育」

講師・中尾卓嗣氏

10月12・13・14日

全国保育研究大会

11月未定

中堅保育士研修会

「テレビを見る子の集中性」

講師・山田真理子氏

11月9・10・11日

全国保育研究大会

18年1月30～2月1日

全国保育士研修会

17年度事業計画(案)は4月の総会において決定いたします。

	自発性	適応性
個人	遊ぶ	生きる力
社会	自己コントロール	生活のリズム

今までお世話になった保育者や、仲良く遊んだ小さいクラスの友達に感謝の気持ちを込めて作り食べてもらおうと、5歳児の子どもたちは、卒園を控える3月になると、毎年、手作りクッキーを作っていました。

今年も、新しい試みとして、5月にカレーライス作りに挑戦しました。子どもたちにカレー作りをするのを伝えると、「やったー」と大騒ぎです。「おうちで作ったことある」という子も何人かいて、期待で胸いっぱいといった様子の子もたくさんいました。

たのしい保育活動

カレーも作ったよ 呪文かけて「いただきます」



まずは、じゃがいもを食べやすい大きさに切ることに始めました。包丁を使わせることに、ついつい保

「うわー、目が痛いー」

「玉ねぎ切ったら涙出てくるねんで」

と、またもや盛りあがりま

す。人參をかわい形に型



抜きした後、材料炒め、ルー入れと、クラス全員の子どもたちで順番にいきました。その時は一人一人が魔法の言葉、

「おいしくなれ、おいしくなれ、おいしくなれ」と唱えました。いい香りが流れ始めるともうたまりません。

三矢ゆりかご保育園 間宮和歌子

保育あんな工夫、さんな工夫



毎朝、笑顔で「おはよう」と登園する子どもたち。「よく食べ・よく遊び・元気な子どもたち」を目標に保育に取り組んでいます。

園庭を元氣いっぱい走り回り、サラ砂作りや泥だんご作りに夢中で遊んでいる子どもたちが室内でも「落ち着いて遊べる空間、あの場所へ行けば〇〇ができる、座ってじっくりと遊べたらいいな」とコーナー保育の



取り組みを始めました。

各クラスごとに絵本・お絵描き・ぬり絵・トランプ・積み木・ブロックなど小さなスペースでも工夫して遊べるようにしています。決まった所にきちんと片付けられるようにシールやマークをつけたり、積み木など遊びによっては、続きができるようにそのまま置いておくこともあります。



「あしたも続きしような」と期待や楽しみがふくらんでいます。

キッズルーム（おもちゃの部屋）

ままごとコーナーがあり、

子どもの背丈に合わせたシステムキッチン・掃除機・電話・お人形などお母さんのまねっこができる素敵なコーナーです。

絵本コーナーと2階ロフトコーナー（5歳児の部屋）

ここは、木の温かさを感じゆったりと遊べるように木製のおもちゃ、可愛いテールやイスもあり、子どもたちの憧れの場所です。ゲームやおしゃべりを楽しんだりお茶のおけいこごっこが始まったりと年長組の大好きなコーナーです。

保育者は、各年齢の子どもたちが今、どんな遊びや環境を求めているかを考え、色々な経験をし学べる保育へつなげていきたいと、試行錯誤しながらコーナー保育に取り組んでいます。

弥刀さつき保育園 森井和子





げんきついでつまれ

地域支援へ新しい試み



子育ての不安や母親自身
の悩みなどを共有できる相
手や情報交換できる場がほ
しいというニーズに応え、
「げんきついでクラブ」を子
育て支援自主事業として行っ
ています。

トをすることで、子育てに
ゆとりを持って、楽しんで
もらうことを目的としてい
ます。活動期間は6か月1
クールと短めですが、地域
の70組前後の親子を対象に
しています。巧技台を組み、

子育て支援シリーズ⑩ 羽曳野市 あおぞら保育園



身体あそびや親
子でリトミック
あそびを楽しん
だり、離乳食の
すすめ方やアレ
ルギー除去食の
指導・子どもへ
の接し方などに
ついて情報交換
をしています。
また、健康面で
気になることを
気軽に相談でき
るように、保健

当園では、園庭解放や行
事への招待で、地域の子ど
もと園児との交流の機会を
持っていました。それが、そ
れだけでは物足りないという
お母さんたちの声を耳にし
て始めたものです。
このクラブでは、いろい
ろな環境に置かれている子
どもやお母さんの心のサポ

師さんと話が
提供して
園内行事を体験して
い「安心して働くことが
きるお母さんの自立を支援
する」という働きかけも行
ています。1クールが終了
する頃には、子ども以上に
お母さんの表情が明るく豊
かになり、積極的に仲間作

員一同、心がけています。
日頃の保育の中でも、疲
れて帰って来られるお母さ
んに笑顔で「お帰りなさい、
ご苦労さま」と声をかける
だけで「支え」になるとい
うことを忘れずに実践して
います。
あおぞら保育園
西野和代

食育を地域に発信するこ
とによって、食を通して親
子のふれ合いを深め、家庭

役割のひとつです。園庭開
放や地域の子育てサークル
を支援する中でも食に関す
る相談が多く、食指導だけ
でなく、おやつクッキング、
離乳食の指導をおこなって
います。家に帰って親子で
のおやつ作りを通して子ど
もと楽しいふれあいの時間
を持つたという、お母さん
の声がたくさん寄せられま
した。また、あさか保育園給
食室オリジナルの野菜と果
物を組み合わせたメニューで
野菜をよく食べるようになって
きたと喜ばれています。
園では、春から夏にかけ
て野菜の栽培をし、収穫し
た野菜を使っておやつやピ
ザ作りをしました。自分た
ちが育てた野菜を食べた子
どもたちはその活動と「食
物の身体」をテーマにした
エプロンシアターを通して

食育

野菜づくりから



の大切さを啓発していくの
が、あさか保育園の大事な

子育て支援シリーズ⑪ 堺市 あさか保育園



食物に感謝の気持ちを持つ
ことができました。
家庭に向けては、給食だ
動で一日を始めるため、朝
食をきちんと食べて登園す
ることを勧めたり、食物ア
レルギーの除去
食にも細やかに
対応しています。
子どもたちが
食べることを喜
びとし、健やか
に成長していけ
るよう保育士と
調理師が連携し
て取り組める自
園給食という最
大の利点を生か
し、今後もその
良さを地域に還
元していきたいと考えてい
ます。
あさか保育園
稲田奈津子

編集後記

「保育士」であった名称が
「保育士」に変わり、「保育
会だより」が「ほほえみ」
に改められたことがついで
の間のようになっています。
保育士資格の国家資格化
が認められたことや倫理綱
領ができたことは、本当に
うれしいことでした。この
数年、三位一体改革はもと
より時代の変化は、気を許
せない現状です。子育て状
況も変化し（乳幼児の虐待）
とを祈っています。